平成22年度事務事業評価表（平成21年度振り返り）

政策名	快適な都市環境が整ったまち

施策番号・名	23	交通環境の向上

基本事業番号・名	23-01	公共交通の調整

事務事業番号	所管課係名 事務事業名	事務事業の目的（事務事業の対象、手段、意図）		対象指標（対象の数値指標化） 指標	実績値（単位）	活動指標（手段の数値指標化） 指標	実績値（単位）	成果指標（意図したことの結果の数値指標化） 指標	実績値（単位）	事業費（実績額）①	人件費（理論値）②	トータルコスト ①+②
23-01-01	都市計画課 街路交通計画係	対象	市民	市民	平成21年度 116,579（人）	コミュニティバス運行に関する視察回数及び意見交換などの会議数	平成21年度 3（回）	市内のバスの便が良いと感じている市民の割合（施策成果アンケート「市内のバスの便が良いと思う」で「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」の割合）	平成21年度 未把握（％）	平成21年度 0	平成21年度 495	平成21年度 495
	市内公共交通調査分析事業	手段	コミュニティバスなどに関する情報収集を行った。		平成20年度 116,117（人）		平成20年度 3（回）		平成20年度 52.9（％）	平成20年度 0	平成20年度 495	平成20年度 495
		意図	市民がより身近に公共交通を利用できる。		平成19年度 115,996（人）		平成19年度 3（回）		平成19年度 54.5（％）	平成19年度 0	平成19年度 493	平成19年度 493

改革・改善の余地（目的妥当性・効率性・有効性・公平性から）		改革・改善の余地を踏まえた平成23年度以降に向けた事務事業の方向性（所管課長記入欄）	
選択項目	説明（選択理由）	選択項目	説明（選択理由）
22年度以降に向けた方向性	現状維持	所管課長名：	都市政策担当　土屋健治
改善の余地	□ あり　■ なし	23年度以降に向けた方向性	現状維持
現下の状況では、運行実施は難しく、現在行っている近隣市等の情報収集を継続していく。		現下の状況では、運行実施は難しく、現在行っている近隣市等の情報収集を継続していく。	